FRIGG & DELPHIS

white paper

Contents

1.フリッグとは

2.デルフィスとは

3.フリッグアンドデルフィス理念

4.付与とインカム

5.ロードマップ

6.今後の展開

7.協働

8.コンプライアンス

9.法的命令によりトークン運営ができなくなった際の対応

10.運営理念

11.運営母体

1.フリッグとは

フリッグを発行した目的は、フリッグを持つ方【全て】にフリッグ&デルフィスの WEB サービスで利用できるサブトークンを定期的に付与することにあります。
これはベーシックインカムの原理を応用し、その理念の実現を目指したプロジェクトとなります。
【フリッグの保持者はサブトークン：デルフィスの定期付与を受ける権利が得られる。】
という原則の元に運営して参ります。

メイントークン「フリッグ」を保持することで月に一回、保有フリッグと同枚数（※4.付与とインカム参照）のサブトークン「デルフィス」の付与を受けることができることにメリットが有り、保持者に安定した価値を長期間に渡って提供し続けることができると考えております。
サブトークンのデルフィスは、運営による WEB サービスにおいて、様々な価値交換サービスを使用することができます。

メイントークン「フリッグ」の持つ主機能は、このサブトークン「デルフィス」の定期付与に集約されます。定期的に、定量の、安定したインカムを生み続けることがフリッグの価値の源泉になります。

また、「フリッグ」のトークンホルダーに運営利益の還元を行うため、メジャーな暗号通貨の付与を通常付与と併せて現在計画中です。（※4.付与とインカムに詳細記載）
この２つの同時付与の機能ににより、フリッグ保持者に対して、月々の基礎的なインカムを作り出していくことを目指しております。
フリッグは決して値上がり益を狙い、値動きに一喜一憂する投機的なトークンではありません。それよりも長期的視野に基づいた、投資的で貯蓄的な「安定した価値の保存」を主目的としたトークンになります。

定期的なサブトークンの付与が価値の源泉であるため、長期的に保有しつづけること自体にメリットが有り、保持者に安定した価値を長期間に渡って提供し続けることができると考えております。

【発行状態】

名称：FRIGG：フリッグ（XCP token）

発行枚数：80,000,000 枚

追加発行無し

名称：DELPHIS：デルフィス （XCP token）

発行枚数：30,000,000,000 枚

追加発行無し

※フリッグとデルフィスは仮想通貨ではありません。ブロックチェーン技術を用いたオンラインサービスに使用されるトークンであり、1 号仮想通貨、2 号仮想通貨、及び前払い式の取引手段には当たりません。

また、私達運営チームはトークンに価値を設定しておりません。私達チーム内ではトークンの価値はありません。

※私達はトークン自体に価値を付けてはおりません。基本的は分散型台帳技術のデータであり、価値はユーザーが付与するものだと考えています。

ユーザーにより、価値が付与された状態でも、運営としてのトークン自体に価値を設けていない状態に変わりはありません。

2.デルフィスとは

デルフィスとはフリッグの姉妹トークンとして、フリッグ同じく 2018 年 4 月にフリッグ発行から 1 週間後に、総発行枚数 300 億枚で発行されました。

フリッグ保持者は【フリッグの 2 倍枚数のデルフィス】を月に 1 回配布されます。（※4.配当とインカムに詳細記載）

デルフィスには、メイントークンである「フリッグ」にはない、様々な価値交換の機能が集約されています。

「価値の保存」がフリッグの本質的機能とすれば、

「価値の交換」がデルフィスの本質的機能となります。

デルフィスの使用例として

１，デルフィスストアにおいての商品やサービスの売買

２，XCP トークン協働で行われるトークンの相互配布会での交換

３，くりぷとちゃんねるにおいて情報交換や投げ銭サービス

４，オンラインショップ決済などのサービスに利用

運営として、価値交換こそがデルフィスの戦略的価値であるとの考えから、今後デルフィスを使用できるサービスを順次拡大していく予定です。

3.フリッグアンドデルフィス理念

私達はベーシックインカムの理念・概念に基づき、またそれを応用してフリッグというデジタル上の仮想資産と、そのサブトークンであるデルフィスを創りました。

ベーシックインカムとは直訳すれば、基礎的収入、と訳すことができます。

人間が文化的で健康的な最低限の生活を送るために必要な、「基礎的な収入」を定期配布しよう、という社会的な取り組みの一つです。

既存の貨幣制度及び社会・政治制度の枠組みの中では、政府による財源の確保が難しく実現できておりません。

欧米の先進的な国々ではベーシックインカム制度の導入の是非について。国民投票がなされましたが、財源の確保等の問題によって実施はなされませんでした。

我々は仮想通貨とブロックチェーン技術を使い、参加者すべての方がその価値を認める範囲内において、このベーシックインカム理念が応用できないかと考えました。

フリッグ＆デルフィスシステムを利用すれば、フリッグの所有量に対して定期的にデルフィスという一定の価値を持ったサービストークンが付与されます。

つまり、日々の生活の収入に対して＋αのインカムを得ることができます。

決して慈善活動や、崇高な目的に使用のみに利用されるトークンではありません。

それは個々人が考える理念や理想とともに行動することで解決される問題であると考えます。

しかし一人一人にゆとり（経済的・時間的・精神的なもの）が無ければ、その活動自体も行う事が出来ません。

一番最初の【活動の芽】が消えてしまいます。

「日々の生活の収入に対して＋α のインカム」の部分を日頃忙しくて出来ない事、例えば、

・没頭できる趣味や大切な家族との時間を増す事

・行きたかった場所への旅

・やりたかった習い事

・どうしても実現したいあなただけの創作

・あなたの周りの世界を豊かにする慈善活動 etc

などに使用することができます。

フリッグ、デルフィスはコミュニティメンバーの個々の活動をサポートし、一人一人の可能性の芽を育む為に発行されました。

フリッグのコミュニティのメンバーの日々のゆとりを少しでも創り出す。

【不特定多数の理想ではなく、まずは貴方の豊かさのために機能する】

それがフリッグアンドデルフィスです。

4.付与とインカム

フリッグの保持者は、月に１回デルフィスによる付与を受けることができます。
また一定の条件により、メジャーな暗号通貨による付与をする計画をしています。
付与日は運営のアナウンスにより、月ごとに変化いたします。詳細は公式 SNS にてその都度提示致します。

【デルフィスの定期付与】
デルフィスの付与は月に１回、公式の事前アナウンスをしてから付与させて頂きます。
付与枚数はデルフィスの市場価値を一定に保つため、段階性の配布になります。

１，2019 年９月まで
　　：フリッグの保持枚数の２倍／月
２，2019 年 10 月～2020 年９月まで
　　：フリッグの保持枚数の１倍／月
３，2020 年 10 月以降
　　：その後９月を締めの月として、１年ごとに毎年４パーセント減少。
　　：最大 40 パーセントまで減少。

これは２つの戦略的な効果を生みます

１，初期ホルダーに多くのデルフィスを付与することによりフリッグ保有のインセンティブを与えること　⇒メイントークン「フリッグ」の初期売り抜けを抑制し市場価格の維持を図る
２，デルフィスの市場流通量の段階的減少により価値の希薄化を防ぐこと
　⇒サブトークン「デルフィス」のインフレを防止し、市場価値の希薄化による投資家の損害防止を図る

こうした、デルフィスの市場流通量のコントロールを通じてフリッグ＆デルフィスの市場価値の維持・向上をはかり、長期保有者並びに新規参入者の増加・促進を図っていきます。

【メジャー通貨の付与】

メジャー通貨の付与はフリッグの運営の利益を上半期、（1～6 月）下半期（6～12 月）に分け、それぞれの半期の終了時に、半期ごとの運営の売り上げの 20%を付与します。（付与時の手数料はこの中に含まれる。）（計画 1 案）

※仮想通貨の付与は今後法令により規制がかかる可能性があります。

現在、付与に使用されるコインはビットコイン、XCP のいずれかです。

しかし付与時期に規制が発生している場合（仮想通貨の配布が違法な場合）は仮想通貨にあたらない XCP トークンで市場に流通を多くしているもの。にさせていただきます。

（2018 年 7/3 時点では XCP トークンのバッカス）

一度メジャー通貨での付与が行われると、次の付与までは運営利益はリセットされ、付与計算上は 0 円として計上されます。

運営にプールされるデルフィスの枚数と併せて約最短 15 年からの定期配布を予定しています。

今後の法令により、暗号通貨の付与が違法と判断された際・違法になる動きがあった際は、インカムの停止後、フリッグは廃止されデルフィスとして統一されます。

その場合、公式アナウンス告知後、フリッグを 100 倍の枚数のデルフィスと交換致します。

（例：フリッグを 10000 枚保有の場合、デルフィス 100 万枚と交換）

5.ロードマップ

2018 年　（拡大期：下半期）

1.デルフィスでの商品交換、サービス代替、投げ銭としての利用。コミュニティコインの確立。

2.フリッグ、デルフィスの専用ウォレット作成。

3.フリッグの外部取引所の上場。または大手オンラインコンテンツ決済導入（ユーザー投票制）

2019 年（成熟期：上半期）

1.デルフィスでの実際店舗での決済を可能にする。

2.オンラインゲーム、e スポーツ等、バーチャリティのサービスにデルフィスを使用可能とする。

3.カウンターパーティ以外のトランザクションとのトークンとのスワップ可能に。

2019 後半から 2020 年～（定着期）

1.トークンの価値を上げるために上場先の追加。もしくは大型オンラインサイト決済導入。

2.フリッグ保有者によるベーシックインカムを定着。

6.今後の展開

フリッグの価格が上昇すると、外部の取引所に上場する資金が集まるため、フリッグ、及びデルフィスを外部取引所に上場させるように働きます。

また提携先を増やし、フリッグ・デルフィスの認知度と流動性の確保に努めていきます。

1 度トークンを外部取引所に上場させると、【2 号仮想通貨】に当たります。

その際は別途「9.法的命令によりトークン運営ができなくなった際の対応」をする事になりますので、ユーザー投票にて上場資金が集まり次第、行わせて頂きます。

7.協働

フリッグはカウンターパーティの認知度、流動性の向上のため、CPT アラアンス構想に参加しています。

CPT アライアンスとは：XCP トークン発行者が協働でコインの持ち合い、配当を行うことにより XCP の流動性の確保、認知率の上昇を狙います。それによりさらにコインの価値の上昇を図る取り組みです。

XCP トークンアライアンス構想により、配当されるデルフィスが協働先のトークンになる場合がございます。

こちらは XCP トークン同士のの流動性の確保と、認知度向上を目指し、実施される取り組みです。

配布時には事前に告知を致します。

8.コンプライアンス

現在、暗号通貨市場は法的な拘束力が弱く、金融資産として暗号通貨は扱われておりません。

運営もフリッグ及びデルフィスは金融資産ではなく、データ上の資産として扱っております。

今後法的な命令によりフリッグプロジェクトが破綻した際には、破綻時点の運営資産で市場に流通しているフリッグまたはデルフィストークンを買い上げて、投資家の皆様の保護を出来るように遵守していきます。

9.法的命令によりトークン運営ができなくなった際の対応

法的な施行により、トークン運営ができなくなった際には、上記フリッグのトークンスワップを行いデルフィスにトークンを変更致します

また、フリッグとデルフィスが仮想通貨、及び前払い式の手段と見なされる場合も下記の処置が発生します。※仮想通貨に当たる場合、仮想通貨交換業の登録が必要な為。

【運営のトークン処置】

運営の持つフリッグトークンを破棄。

運営の保持するデルフィストークンは 95%～100%を取り出し不可能なアドレス（秘密鍵を誰も知らないアドレス）に移しバーンします。その後運営からのデルフィス流通量は 0 になり、すでに市場に流通した分のデルフィスだけとなります。

【コンテンツ】

フリッグによるデルフィスの定期付与は無くなりますが、デルフィスのコンテンツサービスは引き続きユーザー管理型のコンテンツとして稼働致します。

完全にデルフィスは非中央集権のトークンとなり、管理者がいなくなります。これにより運営側によるトークン破綻リスクを避け、デルフィスそのものの価値の保存に繋げます。

【投資家の方へ】

ホワイトペーパーに、今後の法令に合わせた変化を記載することはそのまま投資家の保護に繋がります。

これは、暗号通貨市場は日進月歩の状況であり、法令が追いついていない状況だからです。

未来も常に変わらぬトークン運営を約束する事は投資家の方にとって不利益となり兼ねます。事実そのような暗号通貨は１つとして有り得ません。

その都度、状況によって変化を受け入れていく事がトークン運営として投資家の方に対し適切な対応だと思っております。

10.運営理念

【フリッグトークンの保持者はインカムを得て幸せになる権利が得られる】

運営一同、そのように考え、都度行動してまいります。

11.運営

フリッグプロジェクトは７名の運営メンバーによって始動いたしました。

すぐに法令に順応出来るように、法的な規制がすぐに施行されることが予想されるであろうICO も行なっておりません。

そのため応援して頂ける方は DEX にてフリッグをご購入し、是非一緒にプロジェクトに参加していただければ幸いです。

以上、よろしくお願いいたします。

by フリッグアンドデルフィス運営チーム